

今号のわだい

新年号(12月・1月合併号)です。  
表紙はカラー  
見開きになっています。

# 全厚労ニュース

全 国  
厚生連 労働組合連合会  
〒110- 東京都台東区入谷  
0013 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日 定価 30円  
http://www.zenkouro.org/

神奈川からは間に合いませんでした。申し訳ありません。



埼玉・阿部恵美さん  
(熊谷・助手)



長野・清水孝則さん  
(あづみ・看護師)



関信ブロック・  
花澤直樹さん  
(長野・専従)



広島・高本奉彦さん  
(吉田・放射線技師)



茨城・宇留野正志さん  
(土浦・看護師)



西日本ブロック・  
岩本一宏さん  
(尾道・放射線技師)



高知・西田和真さん(看護師・左)  
堀野翔太さん(放射線技師・右)



大分・大島賢治さん  
(鶴見・放射線技師)



徳島・藤川理恵さん  
(阿波・看護師)



香川・田村順子さん  
(滝宮・臨床検査技師、右から2番目)  
とその仲間たち



山口・弘中聖彦さん  
(周東・放射線技師)



東海ブロック・  
川橋康彦さん  
(愛知・専従)



左から  
愛知・沖 公平さん(渥美・言語聴覚士)  
鈴木正一さん(知多・放射線技師)  
澤田和久さん(更生・薬剤師)



岐阜・伊藤智哉さん  
(西美濃・臨床工学技士)



北海道・長瀬真幸さん  
(札幌・臨床検査技師)



秋田・畠 輝義さん  
(県本部・専従)



福島・永井悦子さん  
(高田・看護師)

# 2017年 “副” 来たる!!

2016年は、埼玉2病院の民間譲渡や茨城の秋年末闘争など厚生連にとって厳しい闘いが今も続いています。

教宣部では、2017年の幕開けに、“福”をもたらそうと全厚労及び各県の“副”委員長に「今年の決意や目標」などをアピールしてもらうことにしました。

みなさんにも“福”が到来することを願っています。



富山・森 和哉さん  
(滑川・理学療法士)



新潟・大平雅浩さん  
(糸魚川・事務)

# 改めて厚生連病院の意味を考える 地域住民と連帯した運動で病院M&Aを許さない

## 第33回医療研究集会in熊谷

16年11月18〜20日、全厚労は埼玉県熊谷市・マロウドイン熊谷において、第33回医療研究集会を開催、13県と地域住民の方々を含めて約120名が参加し、「改めて厚生連病院の意味を考える」のサブテーマで、厚生連を取り巻く情勢や日々の医療活動について考え合いました。

### 地域とのつながり 住民との結びつきを

集会では「医療研究集会の概要と意義（基調報告①）」を安本真理子運営委員長が、「厚生連をめぐる状況と課題（基調報告②）」を茂原宗一医療研事務局長が報告しました。安本さんは、国の「臨調行革」路線、医療費抑制が始まりだした頃から、労働組合として危機感をもち、医療研集会を開催し始めたこと、「地域とのつながり、住民との結びつきを追求する専門部」として医療研が生まれたこと、「住民とともに協同組合医療運動を復興させよう」とのメインテーマをこの間、ずっと掲げて取り組んできたことなどが説明されました。そして今回は、埼玉2病院の突然の民間譲渡を受け、埼玉で開催し、全国で進む病院M&A（合併・買収）の動きを学び、集会の目的（①全国の仲間と悩みを共有し、つながること、②日々の仕事の「社会的な意義」を確認すること、③地域の一員として厚生連病院が果たすべき役割を再認識すること）を達成しようと呼びかけました。

### 学習講演

### 「病院M&A」その背景にあるもの

長友 薫輝先生（津市立三重短期大学）

### 医療・病院で 稼ぐ企業

今日の日本社会において、全国の病院は、「M&A」を生業とする企業に常に監視されている状態です。「M&A」とは合併と買収のことです。まさに埼玉厚労のように、今まで厚生連だった病院を違う形にすることで、病院そのものを合併・買収する。このようなことが全国各地で進んでいます。問題なことは「M&A」を仕事にしている企業があり、金儲けの対象となつていくことです。仲介するだけで、3パーセントから5パーセントの成功報酬が入ります。まさに今、医療が金儲けの材料にされているのです。



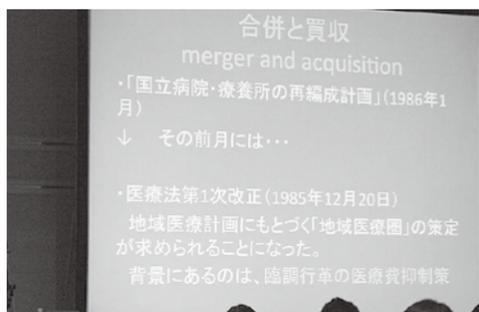
### ターゲットは首都圏 兆候は建て替え 新築移転

病院M&Aを行う企業

が対象にしやすい病院とそうでない病院があります。どういふところが対象になるか、わかりやすい条件は2つです。1つは最近新築したところ、あるいはこの数年後に建て替える、新築移転するところ（会場からどよめき）。もうそれは水面下で病院とM&A企業が話が付いている可能性がります。2つめは首都圏、関東近辺にある事。これが病院M&Aを生業とする企業の一歩のターゲットです。埼玉とか東京とか人口が多いところは、買って

### 世論が社会や 国を動かす時代

茂原さんは、まず厚生連がJA（農協）の一組織であり、かつて医療に恵まれなかった農村地域に病院を作ろうと農民や地域住民が主体となって作り上げてきた協同の組織であること、それらの運動を踏まえ、日赤や済生会と並んで「公的医療機関」として認めさせてきたことを報告しました。このような中でどうするか、といった課題に、「経済・財政的な提案・対案」



のあと儲けることができ。そういう病院をターゲットにしています。インターネットで病院M&Aを検索すると、売りたい人リスト、買いたい人リストがたくさん出てきます。

### 「対岸の火事」と 思わず学習と発信

M&Aがしにくい病院

にも特徴があります。それは組合が日頃からしっかりと運動していること。交渉しつとも一緒に病院を変えていこうとしているところは、中々つけいる隙がなく、買収まで時間がかかるのでM&A業者はやりたがりません。病院M&A企業は効率的にばっばと進めたいの思いがあり、金儲けだから採算がとれないところはやりたいがらないのです。この問題について「対岸の火事」的発想や消極的姿勢は事態を深刻化させる1番の原因であり、自分だけは助かるという発想は危ないこと。厚生連病院で働く1人ひとりがしっかりと学び、発信することが大切だと思います。

### 住民参加の地域医療をめざして

埼玉厚生連病院の譲渡を機に立ち上がった2つの住民の会から展望報告がありました。「久喜地域の医療を考える会」の渡邊浩明さんは、久喜総合病院が譲渡されることによる地域住民の不安や、「市民が医療機関と行政の潤滑油になろう」と活動をはじめた経緯を報告されました。渡邊さんは病院・行政・住民の会の関係を「細くとも長く維持し、来るべき時に備えたい」と話され、「医療労働者の環境が良い方へ変われば、わたしたち患者の環境も変わる」と連帯の言葉を掛けられました。2病院の地域で結成された2つの「住民の会」の代表からの特別報告と、長友薫輝氏の学習講演で1日目を終えました。2日目は、最初に鈴木土身運営委員長が「集会1日目の振り返り」を行い、部分参加の人でも基調報告や記念講演のポイントをつかんでもらうようにしました（3面に関連記事）。



久喜・渡邊浩明さん



熊谷・斎藤健さん

# 驚いた！地域を考える良い機会になった！

## 第33回医療研究集会参加者の声

医療研究集会では4つの分科会に分かれ、それぞれのテーマについて学習し、各県の状況・取り組みも交えながら議論を深めました。各分科会の参加者にインタビューを行い、集会への参加動機や、分科会の様子、集会全体についてのご意見や感想を頂きました。

### 第1分科会 地域とのかかわり



久保田大夢さん

(岐阜県・理学療法士)

初めて医療研究集会に参加しました。参加する前までは、「病院は余程のことがない限り潰れない」という感覚を持っていました。集会での学習を通して、各県厚生連の経営状況や地域医療構想に基づく受け入れ先が確保されないままに進むベットの削減など、現時点での様々な問題点を学ぶことが出来ました。労組員の《危機感の欠如》が最も不安要素であるように感じます。これからは知識を身につけながら、少しずつ行動していきたいと思えます。

### 第2分科会 働く者どうしのわかりあい



大栗 陽さん

(徳厚労・作業療法士)

医療研究集会へは2回目の参加です。今回の医療研

究集会には、同じ厚生連病院である埼玉の2病院の譲渡問題を詳しく知りました。思いから参加しました。それに加えて、基調報告や学習講演のテーマがすごく魅力的なのも参加理由の一つでした。

初日の学習講演は病院M&Aや医療政策について厚生連医療を取り巻く状況を知るの機会と共有



椎葉 衛さん

(三厚労・看護師)

医療研究集会には6回目の参加です。今回の「あらためて厚生連病院の意味を考える」というサブテーマで農協改革による厚生連への影響がどのような事になるのかを全国の仲間と共有



高橋真理子さん

(埼玉・熊総労・看護師)

初めての参加です。分科会最初の「笑いヨガ」や挨拶は、ちょっと恥ずかしかったけど、緊張していた方が抜けました。もっと難しい内容かと思っていたらそうでもなくて、夜も楽しいことがあるようで本当なら

参加したいし、来年も来れたらと思います。2日目最初の全体集会を聞いて、これまで住民とのつながりがなかったなあと思つて、地域の人々のためにという視点がなかったし、他の病院の方々の話も勉強になりました。原発事故のことは、3・11のことがなかったらと思う。原発なくとも大丈夫なのに国は作ろう、動かそうとしていて、国民のために動いてるの



清瀧肇博さん

(長厚労・検査技師)

は、病院のことともリンクして、原発問題がオール電化と結びついていると知りまし

た。電気を余らすことで成り立っているのは、本当にムダな事です。原発労働者

### 第4分科会

#### いのちを育む食と環境

とても勉強する事ができました。分科会では参加者の皆さんと同じ目標に向かって話せたことや、協力して取り組めたことがとても良かったです。組合活動の疑似体験をさせてもらっているような感じで連帯意識を上手く味わせてもらいました。

「わかりあうためのコミュニケーションツール」熊谷総合病院譲渡から学ぶを聞かせていただき、譲渡に関する活動を通して仲間

の大切さを知ることができました。そのためには「コミュニケーションツール」を活用し、情報の伝達を行い共有することが大事であるということが今回印象に残りました。これからの集

会では自分たちの地域や病院を見つめなおし、「医療崩壊」に立ち向かうために私たちに何ができるかという

ことを期待します。次期運営委員になります。全国の仲間と手を取り合い、様々な問題を共有し

### 第3分科会

#### 病院を地域に開く



佐藤真由さん

(三厚労・看護師・写真左)

第3分科会に参加して私たちが取り組んでいる「家族教室」のレポート報告を行ない、取り組みを知ってもらう機会にもなりました。興味をもって聞いてもらえて

すごく良かったです。他にも茨城の震災時の報告を聞いて、大きな震災が起きたとき、地域にとって病院が何を出来るのかを考える機会になりました。

なっている「家族教室」の取り組みを発表し、自分達には当たり前だと思つてきたことが「すごいことだ」と言われて嬉しかったです。また静岡・中伊豆温泉病院での温水浴や集団訓練の報告を聞いて、自分も同じ職種(OT)なので加算が取れなくても行なっているのが分かりました。

### 伊藤ゆきさん

(三厚労・作業療法士・写真右)

医療研には2年前に一度参加しました。今回、自分の精神科単科の病院で行

けて良かったです。実際の聞

しているのでは？と思う。上の人はいか

に儲けるかという話になっていて、従業員が振り回されて

てますが、全国は初めてです。M&Aの話にはビック

リで、全国に広がっている

と聞いてさらに驚きました。住民がなぜ知らせてくれな

かったと言っていました。こちらから地域に出なければ

厚生連ではない。篠ノ井でも病院祭や地域医療懇談

会等はやっていますが、検査技師なので地域に出るこ

とはあまりなく、機会があれば積極的に地域に出て行

きたいと思えます。原発問題がオール電化と

結びついていると知りまし

た。電気を余らすことで成

り立っているのは、本当に

ムダな事です。原発労働者

なっている「家族教室」の

取り組みを発表し、自分達

# 3.11震災・原発事故からもうすぐ6年

新年号  
特別企画

## 福厚労の支援活動と今の思い

2011年3月11日の東日本大震災からもうすぐ6年が経ちます。今号では今も継続して被災地支援活動を行っている福厚労の取り組みを折笠由美子（副執行委員長）さん、大友浩介（副執行委員長）さんに取材しました。以下インタビューです。

Q：かつての双葉分会の組合員さんたちの状況はどうなっていますか？

A：震災、原発事故前、220名（臨時含む）がいましたが、双葉厚生病院の職員は当初90名が退職。130名が県内の厚生連5病院に助勤と言う形で配属されましたが、6年が過ぎた今も病院再開の見通しは全く立たず、職員は兼務と言う形になっています。6年の間には、離れ離れた家族と暮らすためや、慣れない土地での生活にストレスを抱え住み慣れた浜の近くに帰ったりと退職者が多く出ました。現在の



生い茂った草を刈り取っていく。結構な重労働です

元双葉職員は65名（組合員31名）と激減してしまいましたが、残っている職員は配属先の病院によりうやくなじみ、やっとこの職員としての自覚を持つて働くことが出来るようになりました。しかし、今でも結束の強かった双葉厚生病院への愛着は残っているようです。今年の3月には、上記の理由から、存続させていた双葉分会の解散式を行い、退職者や家族も含め交流を深めた後、其々の生活に戻って行きました。安定した日常を送って欲しいと願っています。

（折笠）

Q：（国と東電の）現在の原発政策や、被災者支援策について思うことを聞かせて下さい。

A：国は今後も原発推進の方向で進めていき、福島原発を廃炉にもしないと考えられます。そんな中で避難指示を外し住民を戻そうとするのはどうなのかと感じます。補助金等のお金の問題では、もらっている方、もらっていない方によって考え方が違っているのが現状であると感ずますが、現在も継続している医療費や高速代の無料化については避難者が他県や他市町村での避難生活を余儀なくされている以上、継続した方が良くと思われます。

（大友）

Q：全国の仲間知って頂きたい福島の現状はありますか？

A：引き続き支援してほしいとは現在では考えていませんが、風評被害や偏見によって誤った見方や扱いはしないでほしいと思っています。そして正しい情報を正しく伝え

てほしいです（国や東電が情報操作し駄目なものを良しとしたり、検査結果を改ざんしているのはいかがなものか）。悲しい話を聞くことが多々あります。福島の人だからと、結婚・出産を断らないでほしいです。農作物・海産物も、無理にとは言いませんが、食べたい人は食べてほしい。店頭に出ているのは正しい検査をして安全なものを提供していますから。医療関係では、各業種とも人材不足で困っている状況が続いております。

（大友）

Q：福厚労として取り組みでいること（南相馬への支援活動など）は。

A：震災の年から始めた、被災地支援活動は毎年行い、今年の10月で6回目となりました。新地町や南相馬市小高区に行き、被災された住民の方の力に少しでもなろうと、各分会から集まっておこなって来ました。震災の年は、津波で破壊された家の瓦礫撤去から始まり、最近では避難解除になり、帰還の準備に備え庭の清掃や草狩りなどを行って来ました。同じ県内でも

内陸にいる組合員は、現状を目のあたりにし、初めて原発事故の悲惨さを知ったと言った人もいました。

脱原発の運動には、県内外の集いに各分会より動員し参加しています。また署名などにも積極的に取り組んでいます。今後もう

言った活動は継続して行く事を確認しています。

（折笠）

### 埼厚労

## 2つの組織に分割して活動開始 「健全な労使関係」を構築させる

久喜総合病院は4月に一般社団法人「巨樹の

会」に譲渡され、熊谷総合病院は5月に北海道・北斗の支援により「医療法人 熊谷総合病院」となり、両病院は厚生連ではなくなりました。

埼厚労は9月25日に定期大会を開催し、経営体に応じて支部を分割することを決定。熊谷支部は単一労組として「熊谷総合病院労働組合（熊総労）」となり、鈴木裕子執行委員長含

む24名の執行体制を確立し、「ユニオンショップ」を含む新組合規約を全会一致で確認、法人側とも春秋の団体交渉や月1回の定例労使協議会を開催するなど、健全な労使関係を構築しています。

一方、強行的な譲渡で活動休止を余儀なくされた久喜支部は、埼厚労を存続させ、埼厚労役員や上部団体で巨樹の会と対応してきました。9月29日の労働委員会あっせんを受け、11月22日に会本

部のある佐賀県武雄市で最初の団体交渉を行いました。団体では、就業規則の提示を受けて労組から意見を出し、経営資料等の開示について確認した他、病院運営の目的として「地域医療を守る事」のために職員のモチベーション向上を図ること」を労使共通認識にしたことや「健全な労使関係に向けて、誠実に交渉していくこと」「組合員や組合活動を理由に配転・出向させないこと」などを確認し、「団体交渉記録確認書」として取り交わしました。引き続き久喜でも現場での労使関係づくりに取り組みます。



9月に行われた埼厚労定期大会



作業を終えての記念撮影。達成感と疲れで一杯です

新年号  
特別企画

# 私のオススメの平和

## 新しい年の始まり、平和の心に触れてみませんか

全厚労ニュースで募集した“平和を感じる”オススメ作品が、様々なジャンルで集まりました。知っている作品、知らない作品、2017年を機に味わってみてはいかがでしょうか。

### 平和を感じる…本

●『ちいちゃんのかげおくり』

作：あまんきみこ

絵：上野紀子

●『黒い雨』

著：井伏鱒二



『黒い雨』は、平和を感じるかとは分かりますが、お勧めは井伏鱒二の書籍『黒い雨』です。被爆地広島に内地していないのに黒い雨が降った地域で、その黒い雨を身体に受けて、癌になり、そこに住む村人に謂れない迫害を受け、人生を翻弄させられた、不安と恐怖を綴った本です。田中好子さんが主演で映画にもなりました。白黒の映画で、より原爆に対して恐怖を感じ、観終わった時には平和な世界で良かったと感じました。「はだしのゲン」は有名ですが、「はだしの押し」は「黒い雨」です。  
(広島)

●『三丁目の夕陽』

著：西岸良平

私のおすすめる漫画『三丁目の夕陽』です。今の日本人には忘れられてしまっているものがこの漫画の中にはあると思います。この漫画は人と人の熱い心のぶつかり合いを感じたり、この物語の時代に生きていかなかった僕にもなぜか懐かしさを感じさせられます。この時代と今のどちらが良い、どちらが悪いという話ではなく、たまには涙を流してほっこりするのはいかがでしょうか？  
(徳島)

### 平和を感じる…音楽

●『戦争を知らない子供たち』

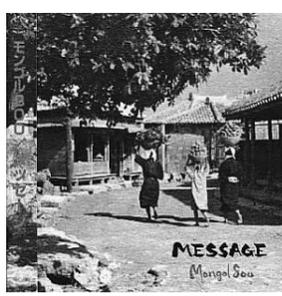
ジローズ

●『琉球愛歌』

MONGOLO800

●『矛盾の上に咲く花』

MONGOLO800



●『himeyuri』

ひめゆりの詩

MONGOLO800

ひめゆりの詩は、戦後70年沖縄慰霊の日発表された曲です。MONGOLO800は平和の祈りや愛とか色々思いをこめた曲が沢山あります。  
(長野)

●『American Idiot』

Green Day



イラク戦争に対する激しい批判が歌われています。アメリカ政府を批判しながらも、アメリカで絶大な支持を得てグラミー賞をとった曲です。皆さんもよくご存知だと思います。最初はパンクのノリが好きでよく聞いていたのですが、意味を知って余計に好きになりました！  
(愛知)

●『タガタメ』

Mr.Children

●『青空』

THE BLUE HEARTS

●『ピースとハイライト』

サザンオールスターズ

### 平和を感じる…映画

●『永遠の0』

監督：山崎貴

●『夕風の街桜の国』

監督：佐々部清

●『風が吹くとき』

監督：レイモンド・ブリッッグズ



●『ディア・ハンター』監督：マイケル・チミノ

●『プラトーン』

●『オリバー・ストーン』

監督：オリバー・ストーン

●『シンドララーのリスト』

監督：ステイヴン・スピルバーグ

●『ライフ・イズ・ビューティフル』

監督：ロベルト・ベニーニ



●『サクラ花』

監督：松村克也

最近見たのは、映画『サクラ花』です。平和を感じるといふより、戦争の怖さを感じる映画の紹介ですが、第二次世界大戦で実際に使われた特攻兵器「桜花（おうか）」を運ぶ飛行機の中の、緊迫した時間が描かれます。戦争と、それに参加させられた人の狂気を感じました。戦争は人間の生き方・在り方をゆがめ、兵隊は兵器の一部になるのだと思います。一度見ておきたい映画です。^ ^ (秋田)

●『グッバイ、レーニン！』

監督：ヴォルフガング・ペッカー



僕は映画「グッバイ、レーニン！」をおすすめします。題名から見ると、お堅い映画なのかと思ってしまうかもしれませんがそんなことはなく、ヒューマンドラマとして、恋愛映画と

して、コメディとしての側面もあります。特に終盤、母に注目して見ていると、母の愛の作品としても見ることが出来る感動作品です。みなさんもぜひ見てみてください！  
(徳島)

●『この世界の片隅に』

監督：片淵須直



2016年11月に公開されたアニメーション映画です。昭和20年の広島・呉を舞台に、おっとりした主人公の人生が描かれています。公開後しばらく経って観に行つたのですが、映画館は満席！若い人が多くてビックリしました。観ていて気持ちの良いゆったりした空気とどんどん引き込まれるストーリーはもちろん、戦争を悲しいという感情だけで終わらせないところが良かったです。戦争を知らない私たちに、過去のものとしてでなく現代の映画作品として、心に訴えかける良い作品です。  
(編集部)

### 平和を感じる…スポット、アニメ他

●『広島平和記念公園』

2014年全厚労定期大会で広島を初めて訪問させていただきました。平和公園を初めて歩き、原爆ドームを見てなんとも言えない感情になりました。翌年、ぜひ子供にも

### 平和委員さんから

初めまして、茨厚労なめがた支部で平和委員をしている泉川さか江です。

今年の夏、孫娘から「嬉しい思い」を頂いたので紹介します。

孫娘は小学6年生です。夏休みの宿題は「平和・戦争・福島の被害等」がテーマの作文でした。孫娘は広島原爆で被害に遭った佐々木貞子さんの生涯を描いた「折鶴」という本の感想文を書きました。母親の話では本を読みながらずっと泣いていたそうです。私は、孫娘に一番泣けたことは？と聞くと「自分も辛いのに、両親に心配をかけたくない、と気を遣う優しさ…」と話してくれました。私も広島での原水爆禁止世界大会に参加した話をしました。茨厚労のみんなが折ってくれた鶴でメッセージボードを作り、原爆の子の像に奉納したこと。原水爆禁止世界大会で貞子さんに思いを込めた「祈り」の歌で感動したことを話しました。意外にも孫娘は「祈り」の歌を知っており、携帯から曲を出して一緒に歌をうたいました。私は孫娘と平和について話せたことや一緒に歌えたことが大変嬉しかったです。

今回の出来事で、改めて組合の平和活動をしていて本当に良かったと思えました。今度、孫娘と一緒に広島原水爆禁止世界大会へ参加しようと思っています。



『折鶴の千羽鶴』  
著：佐々木雅弘

見せたいと思い、家族で再度広島へ。原爆資料館や大和ミュージアムにも行き、親子で戦争、平和について勉強し、語れたことが強く心に残っています。  
(愛知)

●『広島平和記念資料館、長崎原爆資料館』

「平和を感じる○○」と言われて、まずは現地の広島と長崎の資料館です。是非、行ってみてください。人生が変わると思います。  
(秋田)

●『アニメ「アンパンマン」』

原作：やなせたかし

今、娘が2歳でアンパンマンに夢中です！私も一緒に毎日アンパンマンを見ている！フツと自分が子供のころ見ていた時とまた違った感情が生まれます。『バイキンマンってなんでも作れる天才だ！』とか『バイキンマンってなんでジャムおじさんに攻撃しないのかな？』とか『バイキンマンって…』私、バイキンマンにハマってます！物語の内容もアンパンマンを見ている娘を見ていても「平和だなー」そんな気持ちになれています。  
(秋田)

●『ピースサイン』

# ニユース笑アツク

芝田☆友衛



# 16秋・厚生労働省交渉

## 医療・看護・介護崩壊させない対策を

11月25日、第2回中執の翌日に14名の参加で、16年秋の厚生労働省交渉を行いました。今回は、①へき地や地方都市での医療を確保するための抜本的な対策、②「5局長」「6局長」通知を踏まえた医療従事者の労働条件改善と法的規制・診療報酬改善、③病院薬剤師の確保、④介護職員の処遇改善と人材確保の4点について、厚労省の考え方を質しながら、現場の実態を訴え、抜本的な改善を求めました。

### 「5局長・6局長通知」の実効性を確保する法規制を

最初は、②の課題についてやりとりを行いました。「医療・介護分野に精通した監督官の養成や労働行政担当官の増員」について、労基局は「長時間労働やメンタルなどは、様々な業種において問題になっている。あらゆる業種について研修し、対応している」（監督官は）公務員の定数削減の中ではあるが、行政需要



今回は少数精鋭で、厚労省へ要請（中央はあいさつする畑中委員長）

「違反事例があれば監督署へ申告してもらえれば対応する」との返事に止まりました。また法制化については、厚労省は「強制力というよりも経営者が仕事と家庭の調和に努めることで労働者の働く環境を改善する方向が望ましい」「各県に設置している医療機関勤務環境改善支援センターにて、無料のセミナー

「腰痛対策」については、「無料講習会の開催や平成27年度で労働安全衛生調査を行い、テーマを変えて取り組み状況などを把握している。平成29

### 年休取得や時間外労働を保障する診療報酬体系へ

診療報酬について、厚労省は「急性期の患者像が7対1看護にふさわしいか、看護師確保の状況も踏まえて判断していきたい」と答え、「各種委員会を算定基準に入れてほしい」という要望には、「医療法に位置づけられ、全ての病院が整えなければならぬものに限定している」との従来の回答に止まりました。

交渉団からは、「重症度や加算業務のため、パソコン作業が多くなり、ケアの時間が減っている。手厚い看護と言いつつ、そうできない矛盾がある」「7対1看護でも体制は不十分。認知症患者等が増え、現場は手一杯だ」と訴え、本来の「療養上の世話」が出来るような診療報酬を要請しました。一定の有休取得を看護基準の要件とすることについては、「有休取得を制限することは労基法違反になる。業務して

年度予算では、装着型ロボットの補助事業を要求している」と答えました。交渉団からは、「経営者の良心では改善が進まない。罰則などの規制力がなければ、経営優先でやられてしまう」と訴え、

「通知が出たが、どうしても縦割り行政に感じる。局間の連携は取られているのか」と質問。厚労省は「横断的な会議は定期的に行い、情報の共有はしている」と答えました。

「特定行為」について、厚労省は「2025年に向けて、在宅医療を視野に入れて行っている」としましたが、研修の受講状況を確認したところ、3月の研修終了者で259人。研修機関は28医療機関が指定されている」と報告。交渉団からは、「目標との大きな乖離があるのではないか。そもそも医行為を行った時の事故については処置した看護師の責任になる。看護師はやりたくないと思っている。医師養成の増員で対応すべき」と訴えました。

「特定行為」について、厚労省は「2025年に向けて、在宅医療を視野に入れて行っている」としましたが、研修の受講状況を確認したところ、3月の研修終了者で259人。研修機関は28医療機関が指定されている」と報告。交渉団からは、「目標との大きな乖離があるのではないか。そもそも医行為を行った時の事故については処置した看護師の責任になる。看護師はやりたくないと思っている。医師養成の増員で対応すべき」と訴えました。

### ベア1万円となるような処遇改善加算・交付を

④の介護職の処遇改善については、「二億総活躍プランに基づき、17年4月に介護報酬を緊急改定し、月額1万円の処遇改善加算を行う」としましたが、「ベアスアップ」となるようにとの要求には、「そういう思いはあるが、賃金は労使間で決めること」として、純粋に1万円アップとなる制度ではないことが強調されました。

交渉団からは「そもそも労働者全体よりも9、10万も賃金が増えることは、現場のニーズと厚労省の施策の相違点についても、一定のやりとりが出来ましたが、実際の施策を行わせるには、そもそも「国の財政」のあり方を変えていくことも必要です。

交渉団からは、「重症度や加算業務のため、パソコン作業が多くなり、ケアの時間が減っている。手厚い看護と言いつつ、そうできない矛盾がある」「7対1看護でも体制は不十分。認知症患者等が増え、現場は手一杯だ」と訴え、本来の「療養上の世話」が出来るような診療報酬を要請しました。

交渉団からは「そもそも労働者全体よりも9、10万も賃金が増えることは、現場のニーズと厚労省の施策の相違点についても、一定のやりとりが出来ましたが、実際の施策を行わせるには、そもそも「国の財政」のあり方を変えていくことも必要です。

### 参加者からの感想

#### 看護現場の声を上げ続けなければ

福厚労・齋藤文子



福島・齋藤文子さん

看護士の立場から発言しましたが、現状は加算のための業務が多く、患者さんへのケアが後回しになっていることに不甲斐なさを感じています。

委員会も複数かかえ負担も多く、1日に数人が委員会に参加するため看護師が少ない中、患者さんへのリスクも高くなっています。夜勤協定や労務管理が守られているところに診療報酬の加算をしてほしいです。特定行為においても患者さんに何かあった場合、個人の責任になるというリスクや負担も大きいので、研修制度が拡大していくことにも危惧しています。

#### 初めての参加でも職場に直結と実感

岐厚労・伊藤直也



岐阜・伊藤直也さん

厚労省交渉の場は初めてでしたが、とても緊張しました。難しい内容が多く、まだ

た。しかし実際には国からの数値が示されたことで、県は国の意向として受け止めている状況で、交渉団からは「もともと地域の実情や住民の声を聞いていくよう指導してほしい」と要請しました。

金が高い中で、1万はきちんと上がらないと介護職の確保は難しい。「利用者負担にながら加算ではなく、国の責任できちんと交付する仕組みで行って欲しい」と要請しました。

今回の交渉では、現場のニーズと厚労省の施策の相違点についても、一定のやりとりが出来ましたが、実際の施策を行わせるには、そもそも「国の財政」のあり方を変えていくことも必要です。

また勉強不足を感じました。同時に、色々勉強にもなった初体験でした。

大きい場での交渉ながらも、全てが難しい内容というものがばかりではなく、自分の看護師という職種に直結する、腰痛という職業病の対策についての要求もあがってきたのはとても印象深かったです。腰痛Ⅱ労災として、様々な助成、援助の幅があるのを感じました。まだ効率良く腰痛対策行えていない部署もあると思うので、今後も要求していくべき内容に感じました。

# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第116回は埼玉と香川にお願いしました。

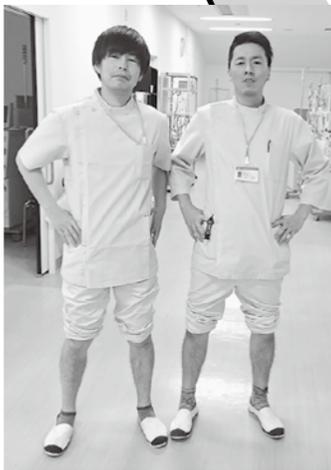


埼玉 坂井貴幸さん

執行委員会青年部としても活動を始め、1年目ながら期待の人材です。

埼玉県からは、熊総労（熊谷総合病院労組）で書記次長1年目の坂井貴幸さんを紹介。坂井さんは熊谷総合病院リハビリテーション科で言語聴覚士として働いています。勉強熱心で全国の勉強会に参加し、知識を深めています。リハビリ科1番のイケメンで絶大な人気を誇り、患者さんからの信頼も厚く頼れる存在です。また、趣味も多く休日はサッカーに野球、サーフィンと、とてもアクティブに過ごしています。

香厚労滝宮支部の27才、男性の松下伊織さんを紹介。普段は臨床工学士として透析室を中心に勤務しており忙しい毎日をご過ごしています。休日には趣味の飲酒、旅行、飲酒、アウトドア、飲酒等を「challenge」をモットーに日々楽しんでます。組合活動では今年度から香厚労の青年部長に任命されました。松下青年部長の目標は同盟のメンバーを増やすことだそうです。チャレンジ1年生！！そんな彼の所属する香厚労では、今年度より佐野貴氏を執行委員長に迎えました。そして屋島総合病院も新築移転し香厚労では様々なことが「change！」しました。みんなが働きやすい理想の職場に向けて頑張っています。よろしくお願いします。



香川 松下伊織さん(右)

## 聞かせて・教えて!のコーナー

さて、新年第一回目の「聞かせて・教えて!」のコーナーです。編集部でも投稿を増やそうと奮闘しています。今回は答えやすさにこだわった内容にしてみました。

**質問1** 年賀状について教えてください。

- A = 送る派      B = 送らない派
- C = メール派    D = SNS派

**質問2** 今号の全厚労ニュースで印象に残った記事を教えてください。

- A = 2017年“福”来たる (1・8面)
- B = 全厚労第33回医療研究集会 (2・3面)
- C = 県の取り組み (4面)
- D = 私のオススメの平和 (5面)

投稿サイトでは質問1・質問2ともA、B、C、Dのいずれかにチェックを入れて投稿して下さい。

下記のQRコードを読み取って、投稿サイトにアクセスするか、以下のメールアドレスに空メールを送って下さい。

[kikasete@zenkouro.org](mailto:kikasete@zenkouro.org)

質問フォームに、必要事項を記入して送信して下さい。氏名・住所・希望景品（図書カード又はクオカード）は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。なお年齢・職種・連絡先などは、具体的に質問に関連して記載をお願いした場合のみ必須となります。



## 投稿締切 投稿・パズルとも2月末まで

### 読者の声

読者の声いつも楽しく拝読させて頂いています。返事もなかなかGOOD！今回は「看護の本質に迫る」ケアの喜びと看護師の信念を、の記念講演がとて心に残りました。

(長野)

講演に限らずではありませんが、印象に残る事に出会えるのは大切なことです。それが今後の仕事や人生に活かしていけるとなると素敵な事ですね。(IT)

冬が来ます。道路に雪が積もり、アイスバーンがとて嫌です。通勤時間も夏の倍の倍。朝の忙しい時間、寒い辛い。

(福島)

私の県でも冬が来ると同じ様な状況になります。お互いに気を付けて運転しましょうね!!

(MK)

かり、地域とのつながりを持つこと大切さを学びました。(岐阜)

(岐阜)

ほんと他人事ではありませんね。こんな時こそ一人ひとりが改めて、同じ全厚労の仲間を助け合い、しっかり自分たちの病院・住民の医療と命を守る!!!を再確認・認識、大事ですね。

(SN)

私らしい働き方って何だろうと思いつながら働いています。ワークライフバランスが叫ばれていても、改善していかない現状です。

(長野)

WLBを人質に先輩が勝ち取ったルールを無視した変則勤務が横行していますが、働き続けられる労働環境こそが「私らしい働き方」だと思っています。

(YM)

初めて送ります。いつも息抜きにしています。次回も楽しみにしています。

(北海道)

息抜きって大切ですね。忙しい中でも少しでも気持ちリフレッシュできる。そんなニュースになるよう、これからも邁進してまいります。

(OK)

### とや年クロスワード

【解き方】二重ワクの文字をA~Iの順に並べてできる言葉は、なに? 【作/モロズ三勝】

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	32	33	34	35
36	37					

答 A B C D E F G H I

#### ヨコのカギ

- 1 七福神が乗っています
- 5 負けると墨を塗られるかも?
- 8 こぐま座やカシオペア座など
- 9 やわらかい骨の焼き鳥
- 11 こぶしのきいた歌謡曲
- 13 鏡餅の上に乗せることも
- 15 クールジャパンの代表格
- 17 インド生まれの修行法
- 18 戦争のルール。国際……法
- 19 英語ではローズ
- 20 入り江。陸地に入りこんだ海
- 22 アウトライン。顔の……
- 24 布団の下に敷いてシワを伸ばす
- 25 ……自慢。……仏

- 27 特別天然記念物の鳥の一つ
- 28 火山が噴火したときの穴
- 29 卵の外側を包んでいます
- 30 鶏の子ども
- 32 元旦の料理です
- 34 キリストの誕生日が元年
- 36 おみくじで今年の……
- 37 2017年は……29年

#### タテのカギ

- 1 エビで釣ることもある
- 2 風の方向を教えてくれる鶏
- 3 安全。……な人選
- 4 ……賀状。新……会
- 5 正月2日に運ぶ荷物
- 6 転ばぬ先の……
- 7 木曜と土曜の間
- 8 1月第2月曜の祝日は?
- 10 ユーカリの葉が主食です
- 12 1月11日に食べる……の行事
- 14 数をかぞえること
- 16 太陽系の外側を回る準惑星
- 19 悪い夢を食べる伝説上の動物
- 21 利息。……を付けて返す
- 23 新年に初めて文字を書く行事
- 24 ……に小判。……にかつおぶし
- 26 日曜の前日
- 28 横向きに歩行します
- 29 ヒラメに似た平たい魚
- 31 濃い青紫色。……べきの海
- 33 トリ年の4年後は……年
- 35 ……エビ。……志摩国立公園

当選者(読者の声掲載者含む)20名様に図書(クオ)カードを差し上げます  
答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。  
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(10月号の答え:ジャガイモ)